



2015年3月期決算説明資料

株式会社バイテック
代表取締役会長兼社長
今野 邦廣

1. 2015年3月期 決算状況



	2014/3月期	2015/3月期		
		公表値	実績	前期比
売上高	109,038	130,000	118,703	108.9%
売上総利益	8,122	—	9,070	111.7%
売上総利益率	7.4%	—	7.6%	—
販管費	6,341	—	6,636	104.7%
営業利益	1,781	2,400	2,433	136.6%
経常利益	1,797	2,100	2,008	111.7%
当期純利益	1,301	1,400	1,425	109.5%

<売上高>

- ①メガソーラー向け太陽光パネルおよび売電収入が売上に寄与
- ②車載向け半導体、多機能プリンタ向けCPU等が好調に推移
- ③スマートフォン向けイメージセンサー売上の伸長

<売上総利益>

利益率の高い海外商材、環境エネルギービジネスのシェア拡大により、売上総利益率が上昇

<営業利益・経常利益・当期純利益>

営業利益 前期比136.6%、経常利益 前期比111.7%、
当期純利益 前期比109.5%と伸長

2. セグメント別 売上高・営業利益

		2014/3月期	2015/3期	前期比
デバイス ビジネスGP	売上高	104,226	108,274	103.9%
	営業利益	1,399	1,789	127.9%
	(営業利益率)	(1.3%)	(1.7%)	-
環境・エネルギー ビジネスGP	売上高	4,811	10,429	216.8%
	営業利益	381	644	169.0%
	(営業利益率)	(7.9%)	(6.2%)	-
連結売上高		109,038	118,703	108.9%
営業利益		1,781	2,433	136.6%

➤ デバイス事業、環境エネルギー事業共に売上増を達成。

➤ デバイス事業

海外商材の増加により利益率が改善。

➤ 環境エネルギー事業

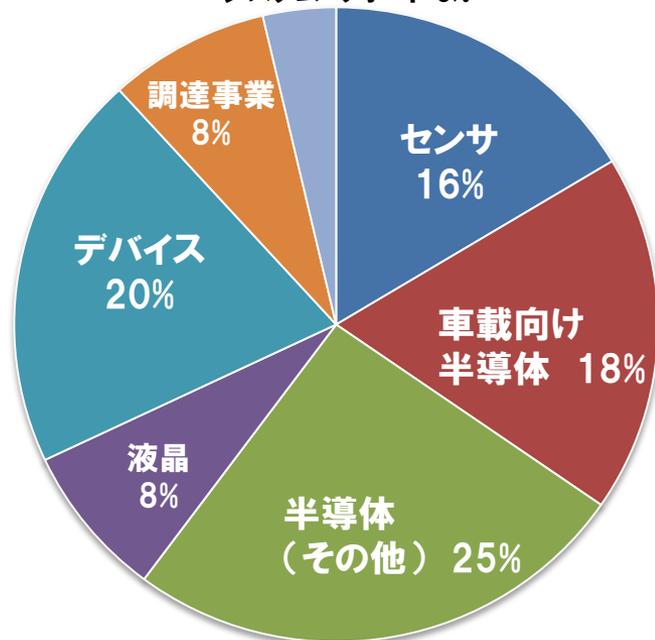
前期比216%となる売上高104億円となり大きく拡大。

営業利益率は6.2%となり高い利益率を維持。金額ベースで6.4億円となり、全営業利益に占める割合が26%に増加(売上構成比は8.7%)。

3. デバイスビジネスグループ別売上高内訳

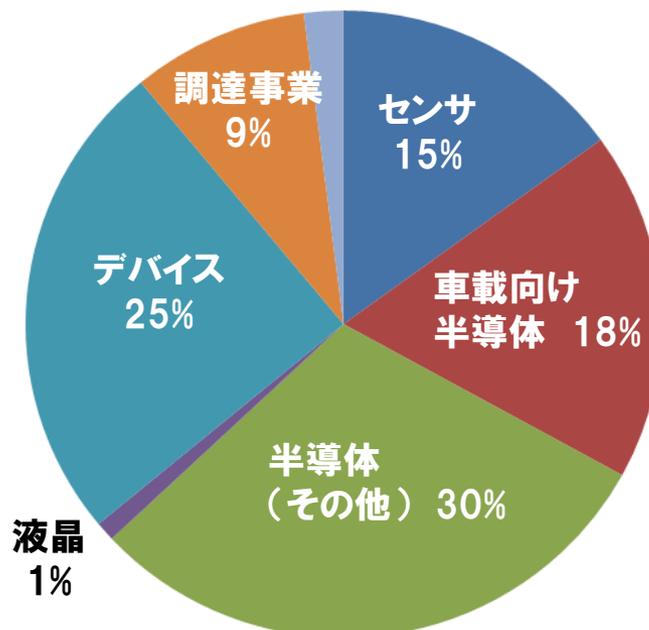
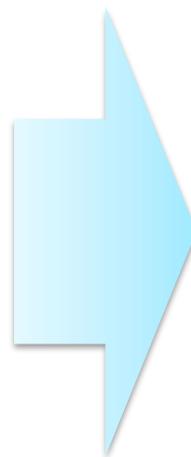
2013年度 1,042億円

システム・サポート 3%



2014年度 1,083億円

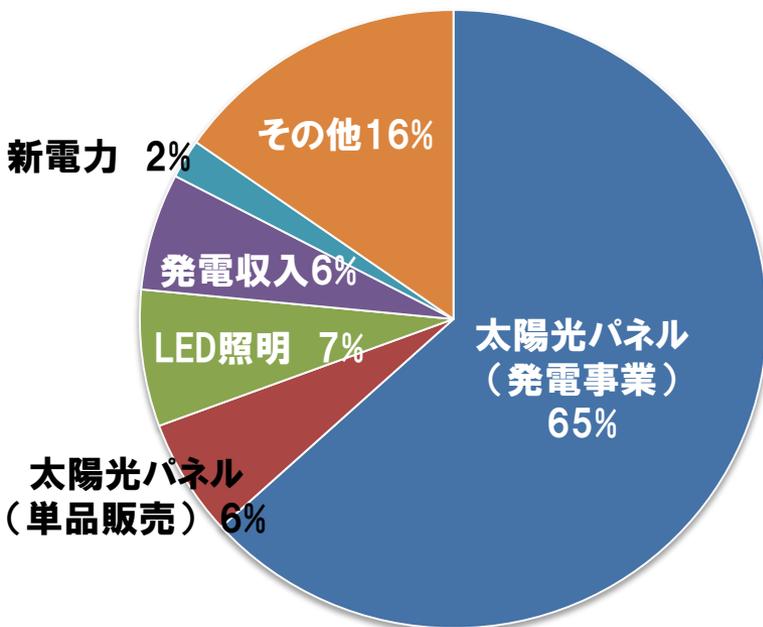
システム・サポート 2%



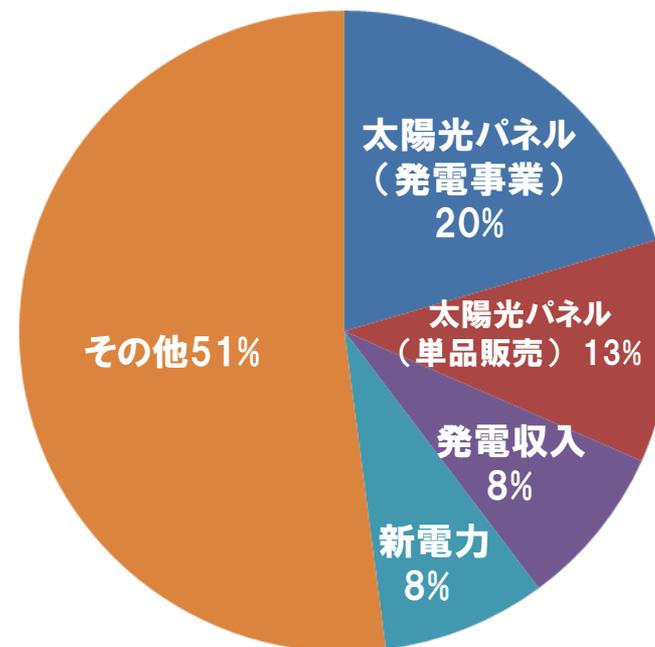
センサ	・顧客の生産台数見直しによるコンパクトデジタルカメラ用イメージセンサの販売減少。
車載向け半導体	・自動車市場堅調・車載用DSP(チューナーIC)、カーナビ用GPSモジュール等の販売順調。
半導体(その他)	・メモリ商権拡大、取扱い商材拡大により販売増加。
液晶	・仕入先メーカーの再編に伴う商流変更により小型液晶パネルの取扱減少。
デバイス	・取扱い商材拡大により販売増加。
調達事業	・大手メーカー向け部品調達代行ビジネス拡大。
システム・サポート	・計測機器販売横ばい。

4. 環境エネルギービジネスグループ別売上高内訳

2013年度 48億円



2014年度 104億円



太陽光パネル (発電事業)	メガソーラー新規案件減少
太陽光パネル (単品販売)	顧客向けパネルの単品販売増加。
発電収入	メガソーラー発電所増加に伴い発電収入が売上に貢献。
LED照明	主要仕入先のLED照明ビジネスの撤退の影響により販売金額が大幅減少。
新電力	V-Power(当社グループ会社)の電力購入および売電増加。
その他	VGS(当社グループ会社)生産パネル寄与、グリーン投資減税向け発電設備の販売。

5. 2015年3月期 貸借対照表



単位:百万円

科目	前前期末 2014年3月31日現在	前期末 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	33,383	40,508
固定資産	8,889	15,952
有形固定資産	7,162	12,588
無形固定資産	231	304
投資その他の資産	1,496	3,058
資産合計	42,273	56,460
負債の部		
流動負債	25,760	32,684
固定負債	4,512	10,618
負債合計	30,272	43,303
純資産の部		
株主資本	11,872	12,526
その他の包括利益累計額	116	628
少数株主持分	11	11
純資産合計	12,000	13,157
負債純資産合計	42,273	56,460

資産合計:56,460(前期比+14,187)。
主に売掛金及びリース資産増加による。

負債合計:30,272(前期比+13,031)。
買掛金及びリース債務増加が主要因。

純資産合計:13,157(前期比+1,157)。
主に利益剰余金増加による。

自己資本比率:今期23.3%

6. 2016年3月期 連結決算の見通し



単位:百万円

	2015/3期(実績)	2016/3期(予想)	前期比
売上高	118,703	145,000	122.2%
営業利益	2,433	3,500	143.9%
経常利益	2,008	3,000	149.4%
当期純利益	1,425	2,000	140.4%

➤売上高は前期比122%の145,000百万円、営業利益率は前期を0.4%上回る2.4%となり、3,500百万円となる見込。利益率の高い海外商材、環境エネルギービジネス関連商材の増加が貢献。経常利益、当期純利益共に前期を上回り、増収増益見込み。

➤デバイスビジネスGP

車載向けIC、メモリ他、海外商材・新規商材を中心に好調を維持。

➤環境エネルギービジネスGP

自社メガソーラー案件増加により、発電収入拡大。新電力関連の需要拡大

➤グループ会社

V-Powerの電力売買事業が拡大見込。

**安定配当を基本に、業績に応じて
積極的な利益還元を図ってまいります。**

年間予想：50円(中間25円、期末25円)

※本年8月7日 配当予想修正(増配)発表

※前年度実績

年間35円(中間17円、期末18円)

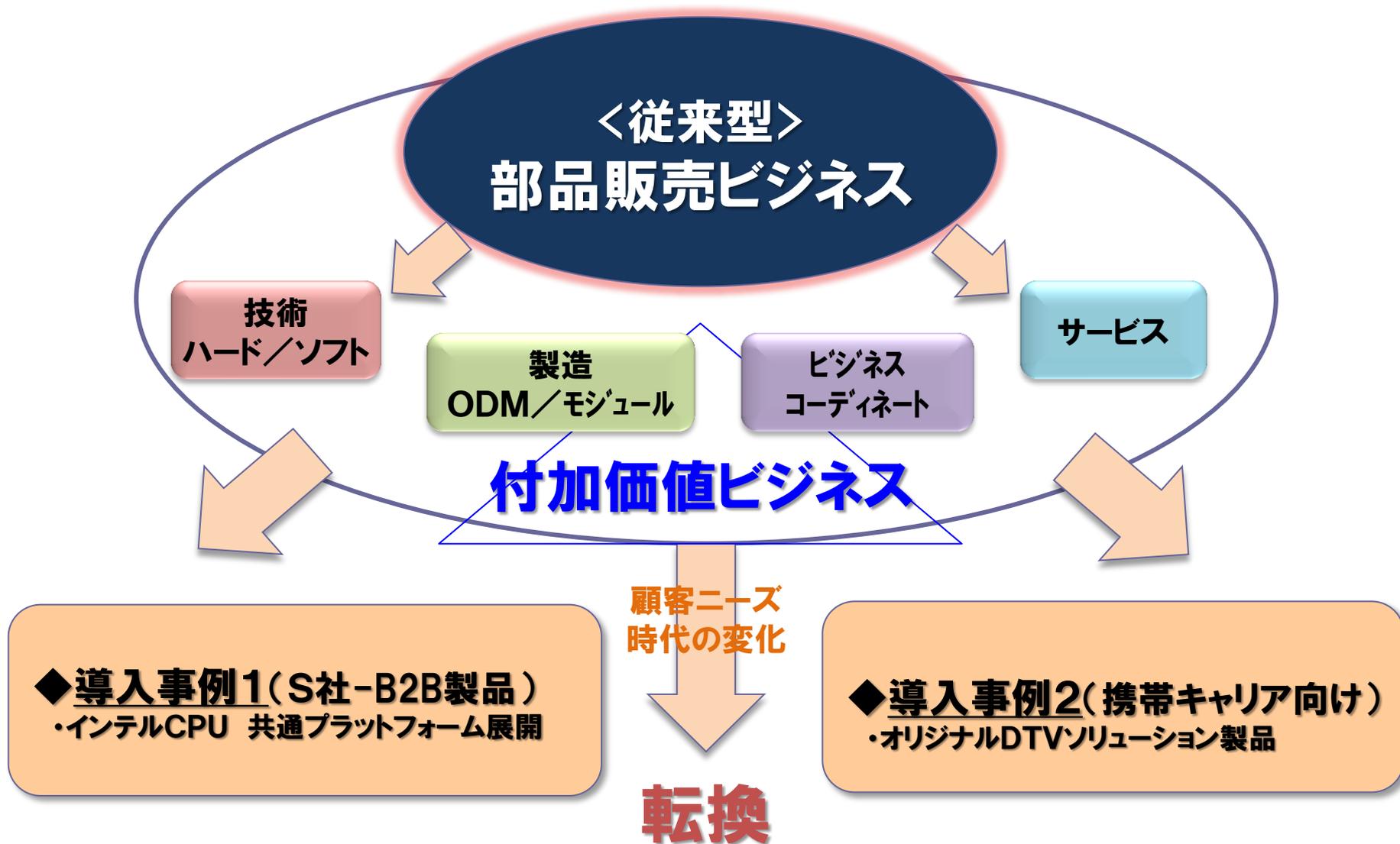
事業領域と概要

INNOVATION & VALUE CREATION

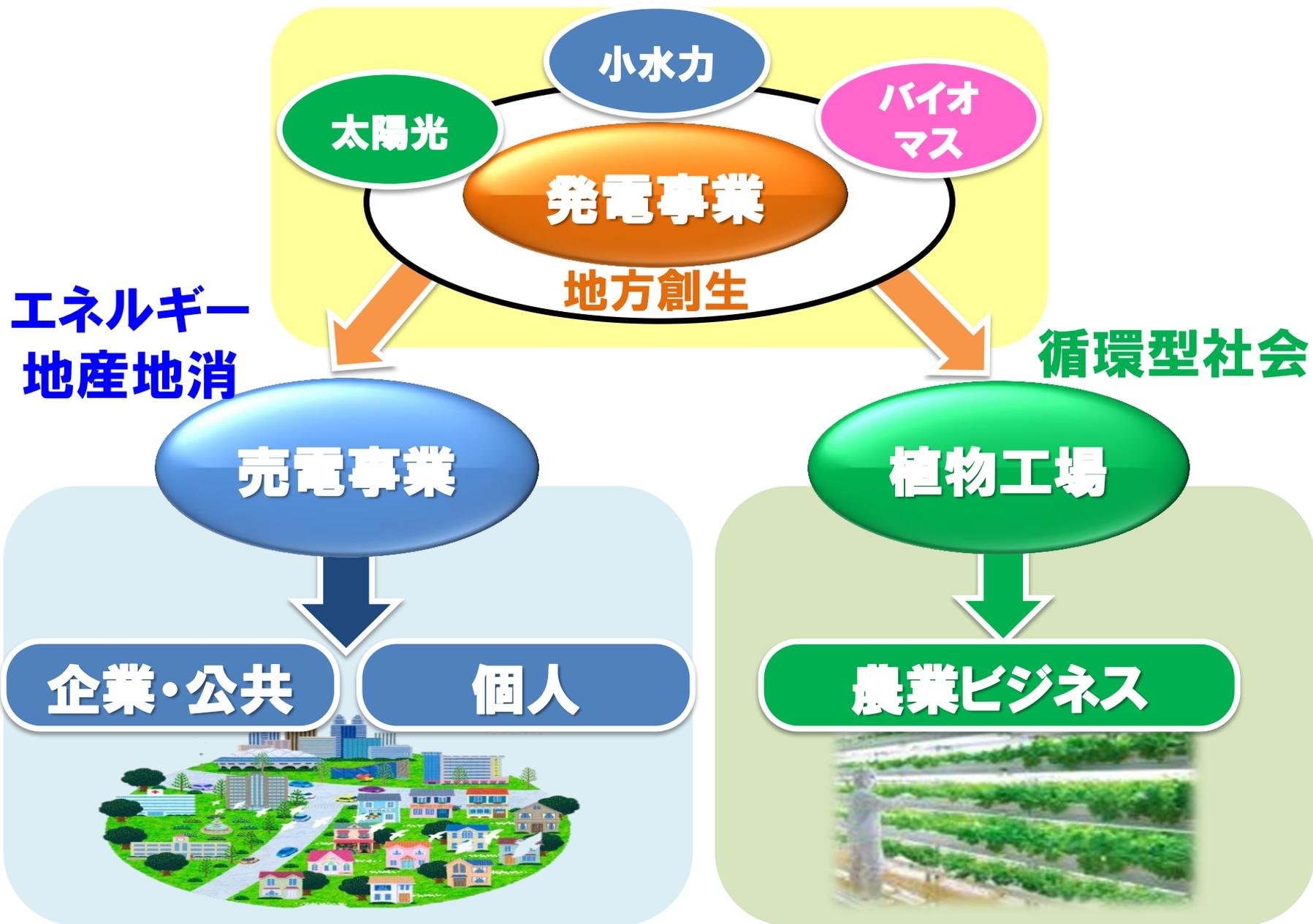


価値創造商社の実現により、社会の発展に貢献する
バイテックは、デバイスビジネスと環境エネルギービジネスで、
豊かな生活と地球にやさしい未来を創造する！

9. デバイスの付加価値創造



10. 環境エネルギービジネス 全体像



11. 太陽光発電の設置・予定

★ 売電中【高圧】
22ヶ所(高圧:36MW)

★ 工事中／着工予定
15ヶ所(高圧:27MW)

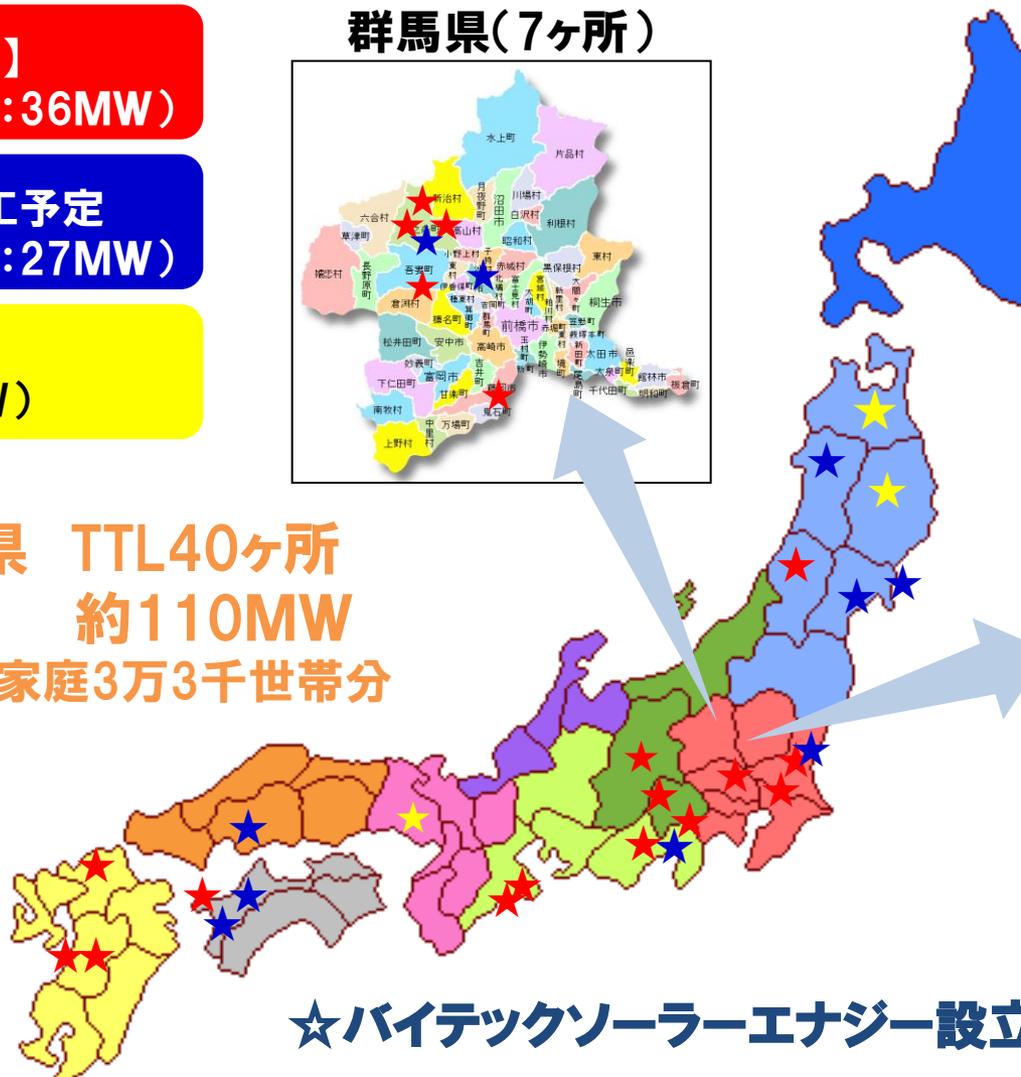
★ 特別高圧
3ヶ所(49MW)

16都道府県 TTL40ヶ所
約110MW
※一般家庭3万3千世帯分

群馬県(7ヶ所)



栃木県(9ヶ所)



★ハイテックソーラーエナジー設立(2015年1月)

バイテックホールディングス

バイテックグローバルエレクトロニクス

デバイス事業
電子機器事業

VSE

VITEC Grobal Operations

バイテックグリーンエネルギー

環境エネルギー事業

バイテック・ハイドロ・パワー

バイテックソーラーエネルギー

PTT

調達事業

V-Power

新電力事業

役割と責任の明確化・機動的な事業展開

13. 新しい監査の体制

監査等委員会設置会社

